



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月31日  
上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社  
 コード番号 4547 URL <https://www.kissei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 神澤 陸雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務管理部長 (氏名) 北原 孝秀  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 0263-25-9081

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	51,635	3.1	492	—	2,113	56.5	6,667	△2.2
2022年3月期第3四半期	50,085	△4.0	△294	—	1,350	△70.4	6,819	5.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △2,342百万円(—%) 2022年3月期第3四半期 △15,268百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	144.58	—
2022年3月期第3四半期	147.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	230,398	196,701	85.0	4,246.44
2022年3月期	238,087	202,180	84.6	4,366.96

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 195,827百万円 2022年3月期 201,385百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2023年3月期	—	40.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,500	4.8	500	—	2,100	273.7	10,800	△16.4	234.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	51,811,185株	2022年3月期	51,811,185株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	5,695,501株	2022年3月期	5,695,353株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	46,115,815株	2022年3月期3Q	46,115,902株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、決算短信とあわせて当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9
3. その他	10
(1) 販売実績	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における医薬品業界は、薬価制度改革をはじめとする医療費抑制策の一環として、一昨年4月の薬価の中間年改定に続き、昨年4月にも薬価改定が実施され、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の加算要件が拡充されるものの、後発品への置換え率に基づく長期収載医薬品の薬価引下げがより厳格化されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界におきまして旺盛なICT需要が継続する一方、建設請負業界、物品販売業界におきましては設備投資意欲に持ち直しの動きが見られるものの、円安の影響により足元の個人消費が押し下げられるなど、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	増減率 (%)
売上高 (百万円)	50,085	51,635	3.1
営業利益又は損失(△) (百万円)	△294	492	—
経常利益 (百万円)	1,350	2,113	56.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)	6,819	6,667	△2.2

## ・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、43,641百万円（前年同期比4.1%増）となりました。コロナ禍の中、従来からのリアル面談と各種デジタルコンテンツを効果的に活用したハイブリッド型の医薬情報活動を推進いたしましたことなどにより、過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」、腎性貧血治療薬「ダルベポエチン アルファBS注JCR」などの売上が増加しましたことに加え、技術料売上、輸出売上、コ・プロモーションフィーなどが増加したことにより、増収となりました。なお、EAファーマ株式会社と共同開発を行いました潰瘍性大腸炎治療薬「カログラ錠」を昨年5月に、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬「タバネオスカプセル」を昨年6月に、それぞれ新発売いたしました。

情報サービス事業の売上高は5,717百万円（前年同期比1.8%増）、建設請負事業の売上高は1,773百万円（前年同期比14.9%減）、物品販売事業の売上高は502百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

## ・利益の状況

利益面では、販売費及び一般管理費の増加がありましたものの、増収に加え、売上原価率が改善しましたことなどにより、営業利益、経常利益は増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の計上がありましたものの、減益となりました。

## ・研究開発の状況

丸石製薬株式会社と共同開発を行っております透析患者におけるそう痒症治療薬ジフェリケファリン（一般名、開発番号：MR13A9）につきましては、同社より昨年9月に承認申請が行われました。また、昨年4月に承認申請を行いました、ライジェルファーマシューティカルズ社（米国）より技術導入いたしました慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬ホスタマチニブ（一般名、開発番号：R788）の製造販売承認を昨年12月に取得いたしましたことから、薬価基準収載後の発売に向けて製品名「タバリス錠100mg/150mg」として、希少疾病領域のマーケティングを専門に担当するレアディジーズプロジェクトを中心に医薬情報活動を展開しております。

当社の創製品であります、子宮筋腫・子宮内膜症治療薬リンザゴリクス（一般名、開発番号：KLH-2109）につきましては、子宮筋腫を適応症として国内第Ⅲ相臨床試験を継続実施しております。

海外におきましては、当社がオブシーバ社（スイス）との間で締結したリンザゴリクスの日本などアジアの一部を除く全世界における独占的な開発権及び販売権を許諾したライセンス契約は、昨年11月末日付にて終結しました。なお、同契約に従い、終結と同時に、オブシーバ社がセラメックス社（英国）と締結していた本剤の北米、アジア以外における商業化に関するサブライセンス契約の一部は、当社に自動承継されています。現在、セラメックス社と、2023年度中の欧州における本剤の発売に向け、新たなライセンス契約の諸条件について協議を行っております。また、オブシーバ社が米国食品医薬品局（FDA）に承認申請していた、本剤の子宮筋腫を適応症とする新薬承認申請（NDA）を昨年8月に取り下げたことを受け、当社は現在、米国での申請に用いたデータ等の精査を進めており、その結果をもって開発方針を決定します。

リンザゴリクスのアジア地域における技術導出につきましては、一昨年9月に中国においてバイオジェニユイン社（中国）に独占的な開発権及び販売権を許諾したことに続き、昨年11月、シンモサバイオファーマ社（台湾）に台湾における独占的権利を許諾しました。

(2) 財政状態に関する説明

・資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は230,398百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,689百万円減少しました。流動資産は現金及び預金が減少しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産、棚卸資産などが増加しましたことにより、2,442百万円増加し101,785百万円となりました。固定資産は投資有価証券の減少などにより、10,132百万円減少し128,613百万円となりました。

・負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の負債は33,696百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,211百万円減少しました。流動負債は、未払法人税等が減少しましたが、支払手形及び買掛金、「その他」に含まれる未払金が増加しましたことなどにより、586百万円増加し19,330百万円となりました。固定負債は繰延税金負債の減少などにより2,797百万円減少し、14,365百万円となりました。

・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産は196,701百万円となり、前連結会計年度に比べ5,478百万円減少しました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が減少したことによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.6%から85.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年11月8日発表の連結業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,013	23,713
受取手形、売掛金及び契約資産	22,808	27,126
有価証券	23,139	23,456
商品及び製品	10,491	11,031
仕掛品	63	482
原材料及び貯蔵品	8,433	9,525
その他	4,392	6,449
流動資産合計	99,342	101,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,132	39,209
減価償却累計額	△30,525	△31,013
建物及び構築物（純額）	8,607	8,196
土地	12,611	12,611
建設仮勘定	—	7
その他	16,469	16,159
減価償却累計額	△13,613	△13,356
その他（純額）	2,856	2,802
有形固定資産合計	24,074	23,618
無形固定資産	1,569	1,553
投資その他の資産		
投資有価証券	96,631	83,534
退職給付に係る資産	2,460	2,781
繰延税金資産	524	384
その他	13,508	16,774
貸倒引当金	△23	△33
投資その他の資産合計	113,101	103,440
固定資産合計	138,745	128,613
資産合計	238,087	230,398

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,104	5,566
短期借入金	1,640	1,540
未払法人税等	3,497	25
賞与引当金	1,707	806
その他の引当金	151	188
契約負債	2,696	1,966
その他	4,946	9,236
流動負債合計	18,744	19,330
固定負債		
繰延税金負債	16,259	13,366
役員退職慰労引当金	181	188
資産除去債務	138	138
その他	583	671
固定負債合計	17,163	14,365
負債合計	35,907	33,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,226	24,226
利益剰余金	118,183	121,714
自己株式	△12,912	△12,912
株主資本合計	153,854	157,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,095	36,240
退職給付に係る調整累計額	2,435	2,201
その他の包括利益累計額合計	47,531	38,442
非支配株主持分	794	874
純資産合計	202,180	196,701
負債純資産合計	238,087	230,398

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	50,085	51,635
売上原価	25,976	26,249
売上総利益	24,108	25,385
販売費及び一般管理費	24,402	24,892
営業利益又は営業損失(△)	△294	492
営業外収益		
受取利息	35	16
受取配当金	1,346	1,243
有価証券評価益	66	170
その他	297	242
営業外収益合計	1,746	1,673
営業外費用		
支払利息	17	15
貸倒引当金繰入額	—	15
その他	83	21
営業外費用合計	101	52
経常利益	1,350	2,113
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	8,005	6,879
特別利益合計	8,005	6,879
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産処分損	23	2
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	619	—
特別損失合計	643	2
税金等調整前四半期純利益	8,713	8,990
法人税、住民税及び事業税	1,929	940
法人税等調整額	△119	1,305
法人税等合計	1,810	2,246
四半期純利益	6,903	6,744
非支配株主に帰属する四半期純利益	84	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,819	6,667

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	6,903	6,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,221	△8,849
退職給付に係る調整額	49	△237
その他の包括利益合計	△22,171	△9,086
四半期包括利益	△15,268	△2,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△15,356	△2,422
非支配株主に係る四半期包括利益	88	80

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品	情報サービス	建設請負	物品販売	
売上高					
医薬品事業					
医薬品販売	35,510	—	—	—	35,510
ヘルスケア食品販売	2,765	—	—	—	2,765
技術料	400	—	—	—	400
その他	3,263	—	—	—	3,263
情報サービス事業	—	6,840	—	—	6,840
建設請負事業	—	—	3,075	—	3,075
物品販売事業	—	—	—	612	612
顧客との契約から生じる収益	41,939	6,840	3,075	612	52,469
外部顧客への売上高	41,939	5,616	2,082	445	50,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,223	993	166	2,383
計	41,939	6,840	3,075	612	52,469
セグメント利益又は損失(△)	△1,224	669	132	28	△394

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△394
セグメント間取引消去	62
固定資産の調整額	40
その他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△294

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品	情報サービス	建設請負	物品販売	
売上高					
医薬品事業					
医薬品販売	36,235	—	—	—	36,235
ヘルスケア食品販売	2,716	—	—	—	2,716
技術料	970	—	—	—	970
その他	3,719	—	—	—	3,719
情報サービス事業	—	7,247	—	—	7,247
建設請負事業	—	—	2,457	—	2,457
物品販売事業	—	—	—	664	664
顧客との契約から生じる収益	43,641	7,247	2,457	664	54,011
外部顧客への売上高	43,641	5,717	1,773	502	51,635
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,530	684	161	2,376
計	43,641	7,247	2,457	664	54,011
セグメント利益又は損失(△)	△325	654	39	30	398

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	398
セグメント間取引消去	76
固定資産の調整額	23
その他の調整額	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	492

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

## 3. その他

## (1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業	41,939	83.7	43,641	84.5	1,702	4.1
泌尿器科用薬剤	11,757	23.5	13,517	26.2	1,760	15.0
腎・透析科用薬剤	10,878	21.7	10,797	20.9	△80	△0.7
希少疾病用薬剤	60	0.1	641	1.2	581	957.4
代謝内分泌科用薬剤	5,991	12.0	4,953	9.6	△1,037	△17.3
産婦人科用薬剤	828	1.7	659	1.3	△169	△20.5
眼科用薬剤	433	0.9	355	0.7	△78	△18.0
その他の薬剤	5,561	11.1	5,310	10.3	△250	△4.5
ヘルスケア食品	2,765	5.5	2,716	5.3	△49	△1.8
技術料	400	0.8	970	1.9	570	142.6
その他	3,263	6.5	3,719	7.2	456	14.0
情報サービス事業	5,616	11.2	5,717	11.1	100	1.8
建設請負事業	2,082	4.2	1,773	3.4	△309	△14.9
物品販売事業	445	0.9	502	1.0	56	12.7
合計	50,085	100.0	51,635	100.0	1,549	3.1
(うち輸出高)	(2,723)	(5.4)	(3,741)	(7.2)	(1,017)	(37.4)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。